

志賀 あしの会

特定非営利活動法人志賀地域暮らしの足を考える会
略称 NPO志賀あしの会
滋賀県大津市木戸1346 番地の9
TEL 077-592-8112 FAX 077-592-8112
メール shiga.ashi@gmail.com
発行責任者 川島健也・林正敏



これから どうなる？ どうする？ 私たちの「暮らしの足」

私たちNPO志賀あしの会は設立以来約2年、志賀地域に利用しやすい「新しい暮らしの足」を実現するために活動してきました。未だ道半ばですが、少し明るい兆しも見えてきたように感じられます。

現状と明日を考えてみました。

(3, 4 ページの図表を参照)

私たちの取組み — 越市長との交渉へ

私たちは「新しい暮らしの足」の実現を目指す一方、それまで待てない方々の手助けにと、「おでかけ支援事業」を実施し、好評をいただいています。

しかし、それではガソリン代実費しか頂くことができないので、電話代を始めとする運営費は、すべてみなさんの会費を頼りにしています。そこで、目標としているのは、採算が合う程度に適正な利用料を設定することができる「過疎地有償運送」です。

これは国の制度で、大津市の仲介を経て運輸支局に申請することによって、実施することができます。目片市長のときに、手続きを進めてくれるよう要請しましたが、協力が得られず、不発に終わっています。

その後専門家とも相談して「ふるさと号」計画に練り直し、また、積極的な交通政策を公約に掲げて当選した越市長にも期待をかけて、2月4日に2回目の要請書を提出しました。これに先立ち、市の担当者とも会談を行いました。今後の行方に目が離せません。

大津市、交通不便地域に「新たな輸送サービス」 —平成27年度(2015.4～)に運行開始—

越市長は「デマンドタクシーやコミュニティバスの検討」を公約しており、それは、市議会に交通対策特別委員会を設置し、またロードマップ(工程表)を発

表することで、徐々に具体化が進みました。

さらに2012年12月市議会における岸本議員の質問、市担当者との会談(上述)によって、「地域の特性に応じた新たな輸送サービス」として、大津市総合計画の中に位置づけられることが判明しました。

どの地域か？ということは、今後の課題とされていますが、特別委員会で、小松・木戸学区が大津市全体で最も交通・生活不便な地域ととらえられていること、越公約に、志賀ブロックでは志賀日赤への交通確保が掲げられていること、などから志賀地域が最有力候補地と考えられます。

みんなの力で「新しい暮らしの足」の実現を

平成27年度から運行が予定される「新たな輸送サービス」の中味は、現段階では不明です。安全で安定な運行のためには市が運行主体となることが望ましく、また、隣の高島市のように業者への運行委託の可能性が高いと思われます。

一方、NPO志賀あしの会が運行する「ふるさと号」または「おでかけ支援事業」に、市が補助金を出す可能性も残されています。

これらが利用者にとってよりよい形となるよう、私たちは大津市の動向を注視し、また、声を大きくしていくことが必要と思われます。



おでかけ支援について

2011年6月から開始したおでかけ支援についての現状です。



無償運送(ガソリン代実費はいただく)で行っています。前日までに予約する形式ですので、急用には対応できませんが、通院・お買い物・駅までの足などに多くご利用いただいています。

2011年度は252運送しました。2012年度は、4月から12月までで504運送でした。

現在は月・火・木・金・土の運行ですが、ボランティア運転者がやってもよいという時間をエントリーする形を取っています。ところどころ運転手がいらない空白があります。土曜日はエントリーが少ないのが現状ですが、無理なくぼちぼちと運営しています。

NPO会員68名のうち、おでかけ利用者は24名。NPO会員でない利用者が24名です。今後、NPO会員でない利用者の扱いについて検討をする予定です。

志賀地域で「あし」でお困りの方は、現在の利用者の10倍・20倍おられると思います。今後も高齢化で歩きづらい、運転ができないなどの事態が予想されます。運営への参加者が増え、利用者が増えるように、みなさんのお力添えをお願いします。

NPO会員限定サービスへのお誘い

(今後の計画は、別途配布のちらしをご覧ください)

① おでかけランチ会

ランチ会は今まで5回実施しました。参加者は、5回の合計で22名(延べ人数は52名)でした。会員さんから穴場的なところを教えてもらって、新しい発見を参加者一同で経験しました。食材をわざわざ大阪まで買いに行くこだわりに驚き、そばのたれについてのうんちくなどを聞くのも楽しみでした。

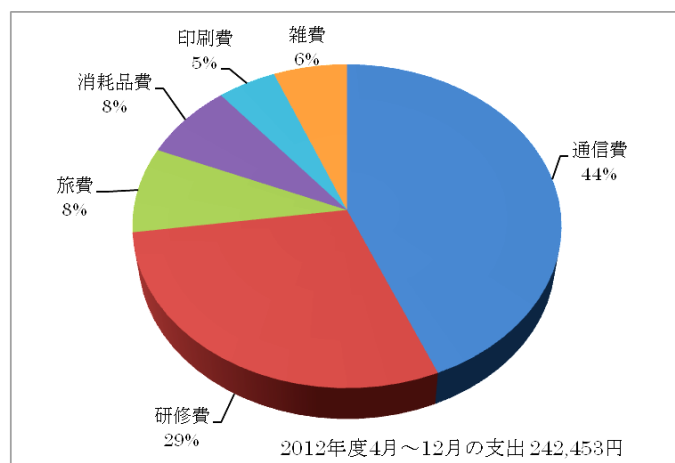
今後も春と秋にそれぞれ数回実施する予定です。今までご参加でない人も是非気軽に申し込んでください。

② パソコンご援助サービス

教えてもらいたい、というふう質問したらいいかわからない人も多いと思います。どんな段階でもマンツーマンで教えてもらえます。今まで4人の方が申し込まれ実施しました。

NPO会費の使い道は…

毎年会費をいただいて本当にありがとうございます。お陰でNPOの運営ができています。2012年度の12月までについて支出の概要をお知らせします。



一番多い**通信費**は、主におでかけ支援の受付・運転手の連絡などです。

研修費は、今年度特別に過疎地有償運送の運転手になる研修を8名が草津市に出向いて受講し、有資格者となりましたが、その費用が大部分を占めています。来年度はこの運転手講習費用はぐっと少なくなる見通しです。

みなさんから頂く貴重な会費・カンパを今後も大切にに使わせていただきます。よろしくご理解・ご協力をお願いします。

大津市より2つの住民アンケートが行われました。

1つは、蓬萊駅から北小松駅のエレベーター設置に関係したバリアフリーのアンケートです。

もう1つは、「日常生活の外出に関するアンケート」です。大津市の交通不便地域についての初の調査です。

エレベーター設置を求める2回にわたる請願署名や、NPO志賀あしの会や唐崎にバスを走らせる会の運動を反映した住民アンケートです。一日も早くよい施策が実施されることを強く望んでいます。

